

幼稚園の砂場

校長 藤田義雄

生徒の皆さんは、小さい頃、砂場でどんな遊びをしましたか？『人生に必要な知恵は、全て幼稚園の砂場で学んだ』というタイトルの本があります。アメリカの哲学者によるものです。どのような内容か想像できますか。

「人生に必要な知恵」とは、人間がどう生きるか、どのように振る舞うかということ。それをもう少し分かりやすい言葉にすると、「ずるをしないこと。何でもみんなで分け合うこと。誰かを傷つけたらごめんなさいと言うこと。食事の前に手を洗うこと。毎日少し勉強し少し考え少し絵を描き、歌い遊び、そして働くこと。」だそうです。「人生に必要な知恵」とは、特別なことではなく、当たり前のことばかりなのです。

すでに皆さんの中には、気付いている人がいるかもしれません。この本のタイトルですが、多くの人は人生に必要な知恵を、子供の頃、幼稚園や保育園や公園の砂場で行った遊びを通して身に付けてきたという例えなのです。つまり、人生に必要な基礎的な知識や人としての大切な振る舞いは、子供の頃にしっかりと身に付けることが重要だということなのです。だから、学校があるのです。

この1年を振り返ると、生徒の皆さんは本当によく頑張ったと思います。それぞれの学年がその学年にふさわしい成長を遂げたと感じています。4月には、新たに中学1年生が入学してきます。皆さんが良い手本となるよう期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、令和5年度がもうすぐ終わろうとしております。生徒のより良い成長に向けて、「自立・貢献」を教育理念とし、「自律・尊重・創造」を目指し、学校・家庭・地域の三者での「挨拶・掃除・行事」を合言葉に、教育活動を展開してまいりました。これまでのご支援ご協力に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



★4月の行事予定★

※変更になる場合があります。新しいもので御確認ください。

- | | |
|---|--|
| 1日(月)～7日(日) 学年始休業日 | 18日(木) 全国学力・学習状況調査②(3年) |
| 8日(月) 着任式・1学期始業式
4時間授業、給食・弁当なし | 職員会議② 5時間授業・部活中止 |
| 9日(火) 入学式
4時間授業、給食・弁当なし | 19日(金) 5時間授業・部活中止、尿検査一次 |
| 10日(水) 全国学力・学習状況調査①(3年)
発育測定(全学年) 給食開始 | 20日(土) 授業参観・PTA総会
学年・学級懇談会 5時間授業・部活中止 |
| 11日(木) 対面式(5・6校時) | 22日(月) 野外活動結団式(2年) |
| 12日(金) 仙台市標準学力検査(全学年) | 23日(火)～25日(木) 野外活動(2年) |
| 15日(月) 学年・専門委員会 | 26日(金) 2年振替休業日
※22日～26日は2年部活中止 |
| 16日(火) 職員会議① 5時間授業・部活中止 | 29日(月) 昭和の日 |
| 17日(水) 創立記念日 中央委員会
副教材集金日(7:50～8:15) | 30日(火) 野外活動解団式 部活動集会 |

※入学式は、卒業式に参列した1・2年生(新2・3年生)が参列します。お弁当の用意をお願いします。

学年末・学年始休業日の電話対応時間は、午前8時10分～午後4時40分となります。土曜日・日曜日と祝日、学校閉庁日は終日電話応答メッセージ対応となります。御了承ください。

人のつながりは本当に不思議なものである。

本校生徒が原フェスで展示した、段ボールで作ったダンボルギーニ（写真①）と、女川町復興のシンボルとなったダンボルギーニ（写真②）今野梱包株式会社 今野英樹代表取締役社長が制作した原寸大のものが、様々な方々のご縁でつながったのである。しかも、仙台市の全小中学校で実施している、東日本大震災の復興プロジェクトに合わせて、今野社長がご自身の愛車である、本物のランボルギーニ・カウンタック（写真③）に乗って来校されたのですから。

太平洋に面する女川町。震災時の津波で横倒しになった旧女川交番（震災遺構）は、今もその被害の大きさを静かに伝えている。今野社長の梱包会社も大きな被害を受けたものの、段ボールを活用したベッドやパーティションを避難所に提供し、支援に力を尽くされました。

また、震災後、人口流出の動きが加速する中、今野社長は地域の若者に、夢を実現する大人の姿を見せたいと考え、原寸大のダンボルギーニ制作を始めました。1年かけて完成したピンクのダンボルギーニ。全国から多くの観光客が女川を訪れ、ダンボルギーニを見て驚き、笑顔になって元気をもらい、ダンボルギーニは女川の復興のシンボル、ひいては東北復興のシンボルとなっていったのです。

「探さないものは見つからない。求めなければ掴めない。」今野社長の座右の銘です。

これから本校では、能登半島地震で被災した中学校に、生徒一人一人による寄せ書きを送ります。宮城県と石川県の中学生がつながり、互いに少しでも前へ歩んでいく力になればと考えています。



①本校生徒が制作した
ダンボルギーニ



②女川町役場に展示されている
今野社長のダンボルギーニ



③今野社長の愛車
ランボルギーニ・カウンタック

できること考え夢へ挑戦を 仙台・袋原中 今野梱包社長講話

仙台市太白区の袋原中（生徒404人）で8日、段ボール製のスーパーカー「ダンボルギーニ」を作ったことで知られる今野梱包（石巻市）の今野英樹社長を招いた講話会があった。11日で13年となる東日本大震災を振り返りつつ、生徒に夢



を持つ大切さを語りかけた。

今野社長は震災後、段ボール製品が避難所などで重宝され、仙台市内でプレハブ仮設校舎のげた箱やロッカーとして使われたことを紹介。「自分が何をしたいかではなく、何ができるかを考えてほしい。夢への挑戦を続けよう」と訴えた。

生徒会長の2年曾我奈那さん(14)は「これからは何事にも率先して取り組み、諦めずにやり遂げたい」と話した。

講話は昨年9月の文化祭で生徒がダンボルギーニを製作したことが縁で実現した。この日は、能登半島地震で被災した学校の様子や津波の被害状況を調べた生徒たちの発表もあった。

◀ 生徒を前に講話する
今野社長

震災から13年・故郷復興プロジェクトを行いました

3月8日（金）故郷復興プロジェクトを行いました。今年度は、全員で黙祷を行った後、各学年の代表生徒が、1月に発生した能登半島地震の状況等についての発表を行いました。また、今野梱包株式会社社長の今野英樹様が講話をしてくださりました。

左の新聞記事は、本校で実施した故郷復興プロジェクトについて、3月10日河北新報朝刊に掲載されたものです。

新年度に向けて、御記入いただく書類等があります。お忙しい中とは存じますが、御協力をお願いいたします。本日、保健関係書類（保健関係調査票と健康の記録、心とからだの健康調査票、日本スポーツ振興センター加入同意書）と家庭環境調査票、氏名写真掲載承諾書を配付しております。必要事項を御記入の上、4月8日（月）に御提出をお願いいたします。

※個人情報保護のため、不当な利用、複写及び複製等をしないようお願いいたします。